

令和7年6月28日

泉谷小中学校避難所運営委員会 避難所運営への協力と備蓄のお願い

泉谷小中学校避難所運営委員会
委員長 吉原 文昭

大きな災害が起こった際には（特に発災直後から3日間）、住民自らが、生き残るための最低限のことを、自分たちで最優先に行っていく必要があります。そのため、避難所運営委員会を設置し、地域住民が主体となって避難所を開設・運営するための体制づくりに取り組んでいます。（避難所開設から3日で避難者住民自治に移行が基本となります。）

泉谷小・中学校避難所運営委員会は、本学校を避難所とする住民が所属するおゆみ野地区11自治会から選出された33名の委員（市・学校職員等を除く）で組織されています。

【主な活動】（災害時：市内震度6弱以上で参集、又は市長の指示で招集し避難所を開設）

- ・年6回の全体会議
- ・施設の使用訓練及び資機材の確認
- ・避難所開設訓練等の実施（九都県市防災訓練の一環として実施）
- ・避難所運営マニュアルの改訂（避難所のルールづくり）
- ・非常食や備品の管理

【避難所開設時の課題と避難所運営ボランティアのお願い】

本来避難所は避難者自らが運営することが基本となっており、それを初期対応や事前のルールづくりなどで支えることが市・学校関係者及び委員の主な役目ではありますが、災害が発生し避難所を開設する場合、委員自身も被災者となる可能性があり、各担当者が参集できる保証もありません。

そこで、当委員会では、災害時に協力していただける「避難所運営ボランティア」を募集しています。専門知識やスキルのある方をはじめ、興味・関心がある、ぜひ協力したいという方を募集しておりますので、各自治会の避難所運営委員に御連絡ください。

【各家庭での備蓄のお願い】

避難所の備蓄品は数に限りがありますので、日頃から、各家庭で備蓄するようお願いいたします。特に、食料品はローリングストック（「買う→備える→食べる→買う→備える」）がお勧めです。なお、内閣府は7日分の備蓄を推奨しています。

<お知らせ>

「千葉市防災ポータルサイト」(<https://city-chiba.my.site.com/>)から、避難所ごとの備蓄品一覧が確認できるようになりました。詳しくは別紙を御覧ください。